

気候変動を切り口とした ESDの推進

ESD推進ネットワーク

気候変動を切り口としたESD

気候変動を切り口に、不確実な社会とありうるシナリオに備え、持続可能な社会の創り手を育てる



- 課題解決の即戦力に加え、2030年以降を見据えた ライフステージに応じた人材育成が求められている
- SDGsで目指す さまざまな側面との関わりの理解（気候変動×○○）
- 地域・暮らしの望ましい将来像としての 安心・豊かさ・希望（ウェルビーイング）への共感・支持
- 社会を変える 働きかけ・協働を実践する人材

気候変動を切り口としたESD

気候変動を切り口に、地域の課題から学びと実践を連鎖させる

社会を変えるために実践できる人づくり

地域の気候変動対策と連動した教育、実践

多様な価値観と対話による協創

気候変動対策（緩和と適応）を両立させる教育



「気候変動による影響と対策に関する、学びと実践」 関東ESDセンター

千葉県流山市立東部中学校の
1年生を対象に実施。

「地球温暖化の進行により雨
の降り方が極端化」

地域の地形的な特徴、
ハザードマップ（洪水）の理解

自治会と合同で行う災害発生
時の避難所開設訓練

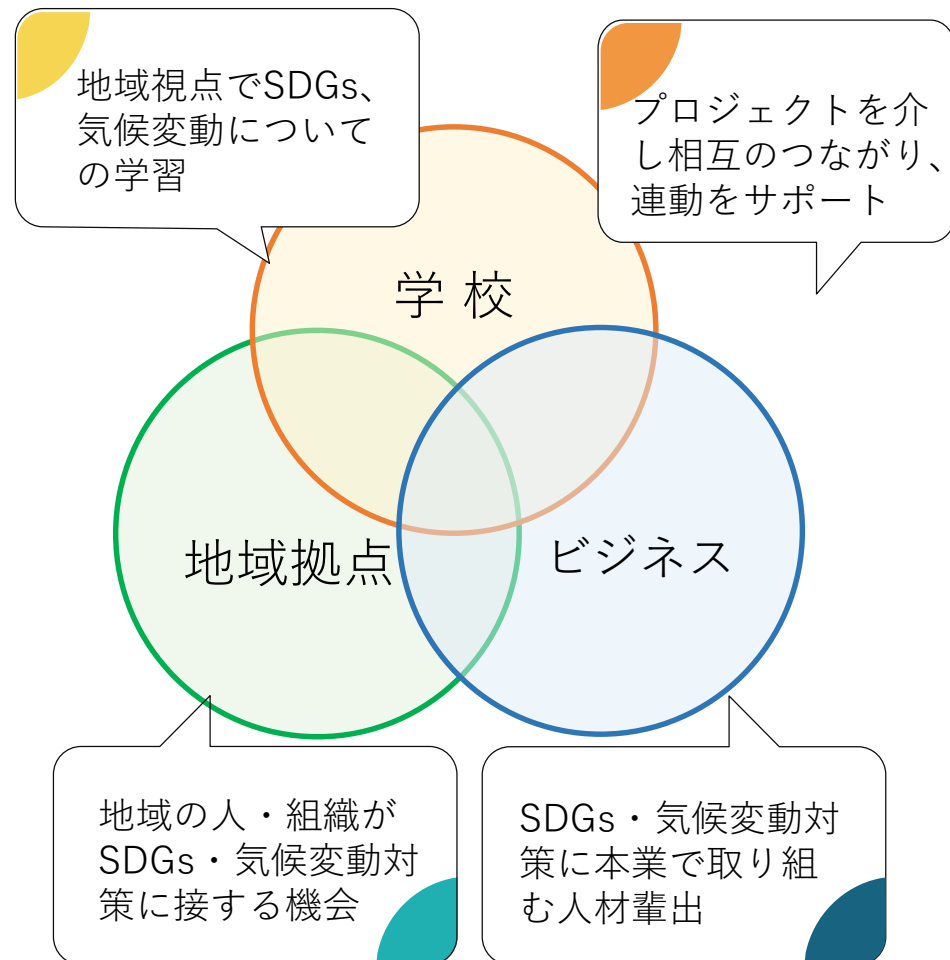
という一連の学びの機会を通
じ、気候変動による影響と対
策について学んだ。

避難所開設訓練では、災害時
に見過ごされがちな女性の視
点や障害者・高齢者への配慮、
コロナ感染対策、ペットの保
護など多様な学びを得た。



気候変動を切り口としたESD





気候変動を切り口に、地域ESD推進拠点とともに社会を変革する基盤を構築する



- 地域を面でとらえ、学校、社会教育拠点、ビジネスセクターの3領域の関連付けを意識し、地域ESD推進拠点と連携した学びあいプロジェクトを展開する
- ライフステージに応じた学びの場をつくる
- 地域ESD推進拠点による地域での取り組みを支援し、広域で横断的なネットワークを形成する
- 持続可能・脱炭素に向かう社会の動きをつなげ、人づくりの裾野を広げる
- 気候変動を切り口にESDで育む、
 - 課題解決と価値創造の基礎力
 - 社会変革の構想力
 - 脱炭素地域づくりの推進力

ESD活動支援センターの事業方針

第2期 国内実施計画の推進

-  1. SDGs達成へのコミットメント
-  2. ステークホルダー間のパートナーシップの促進
-  3. 優先行動分野の推進
-  4. 国際社会におけるESD推進の先導的役割

「今後の方向性」への取組

1. 「ESDの活用」の先導
 - 持続可能社会の創り手としての**SDGs実践人材の育成**をとおして地域発展・課題解決に貢献
2. 環境を切り口にESDを深化
 - 環境分野からのアプローチで**ESDの有用性を可視化**
 - 統合的な目標像としての地域循環共生圏(ローカルSDGs)を意識し、脱炭素推進に資する**教育・人材育成の仕組み**をつくる
3. 対象領域の明確化・体系化
 - 学校教育、社会教育拠点、ビジネスセクターの**3領域の連携**を重点に、ESDの導入・実践を支援
 - これらを担うネットワークとの協働推進体制の確立

地方センター、地域ESD拠点と連携した学び合いPJ

<参考>

2022年度 ESD for 2030 学び合いプロジェクト一覧

| テーマ | 担当センター |
|--|--------|
| 気候変動教育の確立・普及に向けた対話・学びあいの促進 | 北海道 |
| 東北モデルプログラム「ワールド・気候スタディズESD/SDGs」 | 東北 |
| 気候変動による影響と対策に関する、学びと実践 | 関東 |
| 地域づくりのための気候変動社会教育 | 中部 |
| 脱炭素社会の実現に寄与するライフスタイルを促すESD学習プログラムの創出 | 近畿 |
| ESD for 2030の担い手育成及び地元情報紙と連携した成果の可視化・発信(仮) | 中国 |
| 四国ESDバーチャル大学(仮) | 四国 |
| 中学校におけるSDGsを活用したキャリア教育支援 | 九州 |